

『横浜 I R (統合型リゾート) の方向性 (素案)』に関する パブリックコメントの取りまとめ状況 及び 素案修正概要について

「横浜 I R (統合型リゾート) の方向性 (素案)」(以下、「方向性 (素案)」という。)に関するパブリックコメントの取りまとめ状況及び素案の修正概要について報告します。

1 パブリックコメント実施概要

(1) 意見募集期間

令和 2 年 3 月 6 日 (金) から 4 月 6 日 (月) まで

(2) 周知方法

市民情報センター、各区役所区政推進課広報相談係、都市整備局 I R 推進課において、素案概要版リーフレットを配布し、素案冊子を閲覧に供するとともに、市ホームページにデータを公表しました。

(3) 意見提出方法

郵送、F A X、電子メール、窓口持参

2 パブリックコメントの取りまとめ状況

延 5,040 人・団体から、9,509 件のご意見の提出がありました。

いただいたご意見について、方向性(素案)に関する意見等に分類し、その対応状況を整理しました。

(1) ご意見の提出者数

提出方法	意見の提出者数
郵 送	1,782
F A X	1,189
電子メール	1,724
窓口持参	345
合 計	5,040

(参考) 4 月 20 日公表ベース

提出方法	意見の提出者数	増減
郵 送	1,782	±0
F A X	1,198	-9
電子メール	1,746	-22
窓口持参	345	±0
合 計	5,071	-31

(2) いただいたご意見の分類

意見の項目	意見数
方向性 (素案) に関する意見	8,621 件
横浜 I R の方向性 基本コンセプト	(995 件)
横浜 I R の方向性 1 世界最高水準の I R を実現	(877 件)
横浜 I R の方向性 2 都心臨海部との融合	(789 件)
横浜 I R の方向性 3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを	(1,620 件)
横浜 I R の方向性 4 安全・安心対策の横浜モデルの構築	(1,366 件)
取組の背景、I R 実現の効果、地域の理解促進・合意形成、スケジュール等	(2,974 件)
その他の意見等 (素案に関連しない意見等)	888 件
合 計	9,509 件

※ 6 月 30 日現在の取りまとめ状況であり、方向性(素案)に関する意見の分類については、今後変更の可能性があります。

(3) いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
修正	素案変更の参考とさせていただくもの	387件
参考	案に既に記載されているもの、 今後の事業・取組等の参考とさせていただくもの	8,234件
その他	その他の意見等（素案に関連しない意見等）	888件
合計		9,509件

3 いただいた主なご意見と本市の考え方

(1) 横浜IRの方向性 基本コンセプト

主なご意見	本市の考え方
<p><u>他の諸外国と同様の立派なIR施設をつくりビジネスを進めても、他国の模倣でしかない。</u> 日本独自の文化や生活、人々の暮らしが穏やかに営まれる日常を成熟させることが横浜市政の最優先すべき方向性ではないか。</p>	<p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p>
<p>シンガポールの事業を参考にしているようだが、シンガポールをはじめ、他国にある似たような近代的な施設を造っても外国人は関心を示さない。京都がなぜ外国人に人気があるか考えてください。</p>	<p>「横浜IR」では、<u>世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジーを駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮する</u>とともに、新たな魅力・資源をハイブリッドに創造し、横浜の観光経済にイノベーションをもたらしていきます。</p>
<p>10年後にも税金を納めている私たち世代のために実現してほしい。ぜひ若い人が集まってくる街に生まれ変わらせてほしい。</p>	<p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、<u>世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</u> <u>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。</u></p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P.26＞</p>

(2) 横浜 I R の方向性 1 「世界最高水準の I R を実現」

主なご意見	本市の考え方
<p>横浜 I R の方向性としては賛成の立場ですが、「カジノ」は知らない。メリットがなればかりか、デメリットしかない。</p>	<p>I R 整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模な M I C E 施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、<u>M I C E 施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法である I R が、最も有効な手法と考えています。</u> <方向性(案)P. 31></p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めてまいります。</p>
<p>横浜が将来に向かって、楽観的な状況ではないことは、明白です。どこにでもあるショッピングモールを並べた観光地のままで終わるのか、1日遊んでもまだまだ遊び足りない街になるのか、I R 整備によって観光地としての価値が大きく変わらと思う。</p>	<p>「横浜 I R」は、世界水準の M I C E 施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジーを駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッドに創造し、横浜の観光経済にイノベーションをもたらしていく世界最高水準の I R を実現します。 <方向性(案)P. 26></p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。 <方向性(案)P. 28></p>
<p>子どもたちが楽しめるアトラクションやコンテンツを増やしてください。ワクワクする I R なら、もっと期待も高まると思います。</p>	<p>海外の I R では、大規模な噴水広場や植物園などでの光を駆使したアトラクションやキッズエリアなど、お子様や家族連れも気軽に立ち寄り、楽しめるコンテンツが無料で提供され、シンガポールの I R では、年間で 4,500 万人が訪れています。</p> <p>横浜 I R においても、世界水準の M I C E 施設やホテル、エンターテインメントのほか、お子様も楽しめるアトラクション施設や、山下公園から続く水と緑豊かなオープンスペースなど、市民の皆さまが憩える都市型リゾートにしたいと考えています。 <方向性(案)P. 44～></p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めてまいります。</p>
<p>カジノは普段着で何度も通えるパチンコ屋や、東南アジアのカジノで見られるバクチ場的なところとは全く違い、ドレスコードもあり、格調高い社交場的であり非日常を味わえる所とする事を提案する。</p>	<p>大人から子どもまで、外国人でも日本人でも幅広い客層が安心して楽しめる都市型リゾートを目指しており、カジノは大人の社交場としてふさわしいドレスコードを設けるなど、品位と清潔感のある空間とすることとし、方向性 1 「世界最高水準の I R を実現」を一部修正しました。 <方向性(案)P. 46></p>

(3) 横浜 I R の方向性 2 「都心臨海部との融合」

主なご意見	本市の考え方
<p><u>依存症を増やし、横浜のイメージをそこない</u> <u>ます。</u>“カジノの街”横浜にしていって思っ てるのですか。</p>	<p>日本では、<u>過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多い</u>と思 います。</p> <p>しかしながら、現在の海外における I R 事業は、事業者 に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、 反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場 合には規制の対象となります。</p> <p>日本型 I R においても、<u>I R 整備法で、カジノ管理委員 会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカー ドの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水 準の規制が施されています。</u></p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であ るとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！ 日本に行くなら横浜に行ってみよう！そうしてもらえ る『横浜イノベーション I R』を目指していきます。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 47、69、77、83＞</p>
<p>横浜らしい景観を維持してほしい。デート スポットでもある横浜を、海外のキラキラし たものにした時点で需要は激減すると思いま す。</p>	<p>カジノという過去の映画の影響などにより、きらびやか で、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、 現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も 多いと思われます。</p> <p>日本型 I R が参考としているシンガポールの I R にも カジノはあります。これらは、I R 施設に調和するよう設 置されています。横浜 I R においても、横浜のそれぞれの 時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核とし てインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高め る、21 世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・ 景観づくりに挑戦します。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 49＞</p>
<p>山下ふ頭はアクセスが良い印象があまりな く、それだけの人がいきなり押しかけると バスなどが混乱してしまうのではないかと思 う。</p>	<p>山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることにな るため、円滑な交通が求められます。</p> <p>このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとと もに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境 の構築を目指します。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 53＞</p>
<p>今回の新型コロナウイルスの教訓を下に、人が 集まる I R 施設内での防疫体制、リスクマネジ メントに対する基準を実施方針に盛りこむこ と。</p>	<p>災害に強くしなやかで、自立的なまちづくりについて、 感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向 性 2 「都心臨海部との融合」を一部修正しました。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 51＞</p>

(4) 横浜 I R の方向性 3 「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」

主なご意見	本市の考え方
<p>「I Rでしか将来横浜が潤う可能性はない」という感覚は大間違いであったことは明白です。</p>	<p>本市の市税収入の規模は、平成 30 年度決算で約 8,200 億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、<u>法人市民税などの増収につながる企業誘致や、観光M I C E都市、特別自治市制度、SDG s 未来都市の実現、中小企業の振興、商店街の活性化など、様々な施策に取り組んできました。</u> <u>あわせて、毎年度、事務事業の見直し等に努めており、過去3年間で300億円を超える効果を出しています。</u> <u>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、I Rはこれらの重要な政策の一つです。</u></p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 16＞</p>
<p>I Rに来た客が周辺地域や市内、県内に流れる相乗効果が果して生まれるのか疑問です。 お客は、I Rの施設内ですべての目標を達するのではないのでしょうか。</p>	<p>I R区域には大規模M I C E施設やホテルなども整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、I R内のホテルを超える宿泊者が想定され、都心臨海部や市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、I R区域内で使う物品や食品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、I Rの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、I Rと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 55、88＞</p>
<p>増収となるお金の使途を明確にしてほしい。個人的には教育など未来の横浜を支える人への投資をお願いしたい。</p>	<p>I Rによる本市の増収効果は、年間 820 億円から 1,200 億円となっています。この数値は、ご協力していただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの税収見込み等を市で算出したものです。</p> <p>I R整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・特定複合観光施設区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、I R整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 91＞</p>

(5) 横浜 I R の方向性 4 「安全・安心対策の横浜モデルの構築」

主なご意見	本市の考え方
<p>「<u>ギャンブル依存症</u>」には適切・有効な 処 方箋はありません。依存症対策に大きなコストがかかり、これまで世界的にみても効果があつた対策はありません。<u>ギャンブル依存症を増加させ、家族や周りの人を不幸にするカジノを横浜市が開設することには絶対反対です。</u></p>	<p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじや toto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊戯が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、<u>日本型 I R には、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</u></p> <p>日本型 I R が参考としている <u>シンガポールでは、I R の設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</u></p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 69、73、77＞</p>
<p>日本でギャンブルにより依存者が増える行政には反対します。</p>	<p>日本型 I R に設置されるカジノには、I R 整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>日本型 I R が参考としているシンガポールでは、I R の設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 69、73、77＞</p>
<p>すでにパチンコや競馬等、数多くのギャンブルが存在する中で、カジノができたからといってギャンブル依存症が多くなるとはあまり考えられません。</p>	<p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじや toto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊戯が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型 I R には、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>また、本市においては、アルコールや薬物等の依存症対策を含め、関係団体・機関とも連携しながら、総合的に取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 69、73＞</p>

(6) 「取組の背景、I R実現の効果、地域の理解促進・合意形成、スケジュール等」

主なご意見	本市の考え方
<p>横浜にカジノはいりません。市の増収のもとは、人の不幸から成るものと思います。</p>	<p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊戯が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型I Rには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 69、77＞</p> <p>また、公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p>
<p>新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かれているカジノI R誘致の準備はストップすべきです。</p>	<p>現在、本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組を全力で行っています。</p> <p>一方で、I Rに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、I Rについても検討準備を進めていきます。</p>
<p>コロナウイルスの蔓延で分かったように、海外からの観光客頼みの市の財政では、いつ収入が急減するか分からない。</p>	<p>世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、SARSなどの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>日本型I Rが参考としているシンガポールのI Rについては、前述の経済悪化の影響後、2010年に開業し、シンガポールにおける海外観光客数の回復・増加、失業率の改善に大きく貢献しています。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>横浜でのI Rも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p>
<p>若年層の意見を取り入れる手段としてフェイスブックやインスタグラムを利用したソーシャルメディアおよびインターネットによるアンケートなどの手段により我々の意見を取り入れてほしいと思う。</p>	<p>丁寧に市民の皆様と向き合い、理解促進を深めていただき、I Rの実現に「共感と信頼」が得られるよう、取り組んでいきます。</p> <p>世代や生活環境などにより、I Rに対するご理解や考え方が異なることから、様々なツールを使ってお伝えするため、SNSなども活用することとし、「地域の理解促進・合意形成に向けた取組」を一部修正しました。</p> <p style="text-align: right;">＜方向性(案)P. 97＞</p>

(7) その他の意見等

方向性（素案）に関する意見ではありませんが、その他の意見等として「民意を問うべき、住民投票」等の意見もいただきました。

4 「方向性（素案）」修正概要（「横浜 I R（統合型リゾート）の方向性（案）」に反映）

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は <u>下線</u> ）
28	3 横浜 I R の方向性 (1) 基本コンセプト ----- ページ右下	【カジノ】 I R 関連法令等に則した施設とし、ファミリー層等の主動線とは分離された適切な配置計画やデザインとする。	【カジノ】 I R 関連法令等に則した施設とし、ファミリー層等の主動線とは分離された適切な配置計画やデザインとする <u>とともに、大人の社交場としてふさわしいドレスコードを設けるなど品位ある空間</u> とする。
33	3 横浜 I R の方向性 (2) -2 必要な機能・施設 ① M I C E 施設 ----- ページ上	パシフィコ横浜とのコラボレーションによる 我が国最大の『グローバル M I C E 都市 横浜』の実現	パシフィコ横浜とのコラボレーションによる <u>アジアを代表する M I C E 都市・横浜の実現</u>
38	3 横浜 I R の方向性 (2) -2 必要な機能・施設 ③送客施設 ----- 上から 2 行目	【送客施設・機能】 横浜 I R を訪れた来訪客に、横浜や日本各地の観光の魅力を紹介、発信し、日本国内への送客をスムーズに行います。	【送客施設・機能】 横浜 I R を訪れた <u>国内外からの</u> 来訪客に、横浜や日本各地の観光の魅力を紹介、発信し、日本国内への送客をスムーズに行います。
39	3 横浜 I R の方向性 (2) -2 必要な機能・施設 ③送客施設 ----- 上から 4 行目	【横浜都心臨海部の観光資源】 山下公園、元町、中華街、赤レンガ倉庫、みなとみらい 2 1 地区、野毛、伊勢佐木町、馬車道、三溪園等	【横浜都心臨海部の観光資源】 元町、中華街、赤レンガ倉庫、みなとみらい 2 1 地区、野毛、伊勢佐木町、馬車道、 <u>山下公園、三溪園などの商業・飲食・観光施設等</u>
39	3 横浜 I R の方向性 (2) -2 必要な機能・施設 ③送客施設 ----- 下から 1 行目	(追加)	【横浜都心臨海部の観光資源】 <u>オーバーツーリズムに配慮した周辺地域との連携</u>
44	3 横浜 I R の方向性 (2) -2 必要な機能・施設 ⑤来訪及び滞在寄与施設 ----- ページ中段	(追加)	<u>横浜の観光資源（横浜の歴史、芸術、食文化、市内農水産品・特産品、技能等）を来訪者が楽しめ、体験や購入ができる商業・飲食施設等</u>
46	3 横浜 I R の方向性 (2) -2 必要な機能・施設 ⑥カジノ施設 ----- ページ中段	【施設の要件】 落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場	落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場 <u>としてふさわしい、ドレスコードを設けるなど、品位と清潔感のある空間を演出すること。</u>

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は <u>下線</u> ）
49	3 横浜 I R の方向性 山下ふ頭では、21世紀を象徴するような、新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。 ページ中段	【2. インナーハーバーの一員として、横浜の都市づくりの新たな1ページをつくる】 地域全体の景観と調和しつつ、同時に、山下ふ頭が個性を発揮し、対比するこれまでの街並みをひきたてることで、都心臨海部の魅力を形成します。	【2. インナーハーバーの一員として、横浜の都市づくりの新たな1ページをつくる】 地域全体の景観と調和しつつ、 <u>山下ふ頭とこれまでの街並みの個性が対比しながらひきたてあう</u> ことで同時に、都心臨海部の魅力を形成します。
49	3 横浜 I R の方向性 山下ふ頭では、21世紀を象徴するような、新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。 ページ左下	【3. 山下ふ頭だからできる景観体験の創造】 既存の都市構造の枠組みにとらわれない、横浜の景観を楽しむ新たな視点場、多様な水域を活用したアクティビティなど多彩な体験の場の創出が可能です。	【3. 山下ふ頭だからできる景観体験の創造】 <u>また、</u> 横浜の景観を楽しむ新たな視点場、多様な水域を活用したアクティビティなど多彩な体験の場の創出が可能です。
49	3 横浜 I R の方向性 山下ふ頭では、21世紀を象徴するような、新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。 ページ左下	【4. 世界に“横浜を魅せる”これからの都市デザイン】 象徴的な“魅せる”環境配慮や、横浜に集積する創造性の発露など、横浜のショーケースとしての独自性ある景観づくりや市民生活を豊かにするための、これまでに無い新たなウォーターフロントでの体験を享受すること等が更に進化した「横浜らしさ」につながります。	【4. 世界に“横浜を魅せる”これからの都市デザイン】 象徴的な“魅せる”環境配慮や、横浜に集積する創造性の発露など、横浜のショーケースとしての独自性ある景観づくりや市民生活を豊かにするための、これまでに無い新たなウォーターフロントでの体験を <u>創造</u> すること等が更に進化した「横浜らしさ」につながります。
50	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など 上から5行目	日本でも世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「未来の街のショーケース」となります。	日本でも世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「 <u>未来の街のショーケース</u> 」として、 <u>明日の横浜の姿を発信します。</u>
50	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ中段左	【新たな緑と水際が融合したエリアの創出】 横浜港の水際を形成する既存の街並みとそれに融合する新たな緑の連続性を形成	【新たな緑と水際が融合したエリアの創出】 横浜港の水際を形成する既存の街並み <u>や山下公園と連続した、いつでも誰でも楽しめる、開放的な、緑豊かなオープンスペースと水際のプロムナード</u> を形成 <u>(写真差替)</u>
50	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ中段右	【エリア全体でのエネルギーの最適化】 20年・30年先を見据えた最先端エネルギー技術の導入と絶え間ない効率化	【エリア全体でのエネルギーの最適化】 <u>省エネ、再生可能エネルギー等、最先端技術の導入と効率化により、エリア全体でのエネルギーの最適化を図ります。</u> <u>(写真差替)</u>

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は <u>下線</u> ）
50	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ----- ページ左下	【持続可能な循環型都市エリアの実現】 脱炭素・循環型社会を構築する持続可能なエネルギーマネジメントの実現	【持続可能な循環型都市エリアの実現】 <u>先進的な環境配慮建築物とすることなど、</u> 脱炭素・循環型社会を構築する持続可能な マネジメントの実現 <u>(写真差替)</u>
51	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など 災害に強くしなやか で、自立的なまちづくり ----- ページ上段	地震や津波などの災害に対して高い 防災機能を持ち、自立したエネルギー 供給を確保するなど、来街者の安全 確保に加え周辺地域の市民にとっ ても安全・安心な防災拠点となる、 災害に強くしなやかで自立的なまち づくりを実現します。	地震や津波・ <u>高潮</u> などの災害に対して高い 防災機能を持ち、自立したエネルギー 供給を確保するなど、来街者の安全確保に加え 周辺地域の市民にとっても安全・安心な <u>防 災の拠点</u> となる、災害に強くしなやかで自 立的なまちづくりを実現します。 <u>また、感染症や不測の事態などに対して、</u> <u>実行性のある危機管理計画を策定し、緊急</u> <u>事態に備えます。</u>
51	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など 災害に強くしなやか で、自立的なまちづくり ----- ページ中段	【災害時の来街者のための安全・安心の確保】	【災害時 <u>等</u> の来街者のための安全・安心の 確保】 <u>(写真差替)</u>
51	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など 災害に強くしなやか で、自立的なまちづくり ----- ページ右下	(追加)	<u>【感染症対策・不測の事態等に対する対応】</u> <u>感染症や不測の事態等に対しても、実効性</u> <u>のある対策計画を策定し、緊急時にも適切</u> <u>に対応します。</u>
52	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など 災害に強くしなやか で、自立的なまちづくり ----- ページ左上	【災害時には周辺地域を含む防災の 拠点】 周辺地域の市民にとっても、一時避難 や物資輸送等あらゆる面で防災拠 点となるエリアを目指します。	【災害時には周辺地域を含む防災の拠点】 <u>区域内だけでなく、周辺地域 からの被災者</u> <u>等の一時滞在・避難の受け入れ</u> や物資輸送 等あらゆる面で <u>高い防災機能をもつ</u> エリア を目指します。

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は下線）
52	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ右上	【災害時バックアップをもつ電源供給システム】 平常時から使用可能なシステムをつくり、災害時バックアップをもつ電源共有システム等により、地区全体として、災害時の自立した都市機能確保を図ります。	【災害時にも安定かつ自立したエネルギー供給】 災害時バックアップをもつ電力供給システムや分散型電源等の導入により、平常時だけでなく災害時にも自立した電力供給を確保します。また、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とします。 <u>(写真差替)</u>
52	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ中段	【わかりやすく、利便性の高いまちづくり】 ハード・ソフトの両面からの複合的な取り組みにより、あらゆる来街者が安全・安心に過ごすことができ、ホスピタリティの高い魅力あるまちづくりを推進します。	【インクルーシブな（誰もが排除されない）まちづくり】 ハード・ソフトの両面からの複合的な取り組みにより、あらゆる来街者が安全・安心に過ごすことができ、ホスピタリティの高いインクルーシブなまちづくりを推進します。
52	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ中段左	【ユニバーサルデザインの推進】 あらゆる来街者が安全・安心に過ごすことができるよう、ユニバーサルデザインを推進します。	【ユニバーサルデザインの推進】 あらゆる来街者が安全・安心に過ごすことができるよう、 <u>建物や移動環境のユニバーサルデザイン化</u> を推進します。
52	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ中段右	【多様な媒体による積極的な情報発信】 多言語対応のデジタルサイネージやスマートフォンアプリなど、多様な媒体を通じて情報提供や情報発信を行います。	【多様な媒体による積極的な情報発信】 多言語対応のデジタルサイネージやスマートフォンアプリなど、多様な媒体を通じて、 <u>平常時だけでなく非常時にも</u> 情報提供や情報発信を行います。
52	3 横浜 I R の方向性 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災など ページ下段	(追加)	【心のバリアフリーの実践】 <u>ホスピタリティ向上のため、区域全体で心のバリアフリーを実践するとともに、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず働きやすい環境を整備します。</u>
54	3 横浜 I R の方向性 (3) - 4 スマートな交通環境の構築 ページ上段	【広域アクセス】 羽田・成田空港、新横浜駅からのダイレクトアクセス（バス、水上交通など）	【広域アクセス】 羽田・成田空港、新横浜駅 <u>など広域的な交通拠点</u> からのダイレクトアクセス（バス、水上交通など）

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は下線）
54	3 横浜 I R の方向性 (3) - 4 スマートな交通環境の構築 ----- ページ右下	【来街者を回遊させるネットワークの形成】 自動車交通や歩行者交通、水上交通等の様々な交通手段によるネットワークの形成	【来街者を回遊させるネットワークの形成】 自動車交通や歩行者交通、水上交通、 <u>周遊交通システム、パークアンドライド</u> などの様々な交通手段によるネットワークの形成
55	3 横浜 I R の方向性 (4) オール横浜で観光・経済にイノベーションを ① MICE による効果 ----- ページ分割・増	『横浜 I R』を目的として、インバウンドを含む観光客や MICE 客が来訪し、宿泊や飲食等により I R 区域内のみならず関内・関外地区やみなとみらい 21 地区、横浜駅など周辺地域の観光消費額を増加させます。	【 <u>MICE がもたらす経済波及効果</u> 】 『横浜 I R』を目的として、インバウンドを含む観光客や MICE 参加者が来訪し、宿泊や飲食等により、I R 区域内のみならず関内・関外地区やみなとみらい 21 地区、横浜駅など周辺地域の <u>商店街や商業・飲食施設</u> の観光消費額を増加させます。 <u>(写真追加)</u>
56	3 横浜 I R の方向性 (4) オール横浜で観光・経済にイノベーションを ① MICE による効果 ----- ページ分割・増	(追加)	【 <u>MICE のレガシー効果</u> 】
56	3 横浜 I R の方向性 (4) オール横浜で観光・経済にイノベーションを ① MICE による効果 ----- ページ分割・増	(追加)	【 <u>市民の活動機会の提供等</u> 】 <u>横浜市民が『横浜 I R』を来訪客として楽しむことはもとより、市民が街を盛り上げていくホストとして活躍できる活動機会の提供等を推進します。(例：通訳ボランティア活動、イベント等への出演等) また、未来を創る横浜の子どもたちが、国際社会で活躍できる視点を養えるよう、海外から来訪する MICE 参加者との交流や職業・現場体験等の機会創出を推進します。</u>
57	3 横浜 I R の方向性 (4) オール横浜で観光・経済にイノベーションを ② 経済効果 ----- ページ分割・増	【 <u>雇用創出・人材育成</u> 】 女性、シニア層など、多様な人材が活躍する場の拡大に向けた、新たな雇用の創出、働きやすい雇用環境の確保、大学等教育機関等との連携を図ります。	【 <u>雇用創出・人材育成</u> 】 <u>障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、多様な人材が活躍する場の拡大に向けた、新たな雇用の創出、働きやすい雇用環境の確保、大学等教育機関等との連携を図ります。</u> <u>(写真追加)</u>

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は下線）
58	3 横浜 I R の方向性 (4) オール横浜で観光・経済にイノベーションを ② 経済効果 ----- ページ分割・増	【食材・物品・サービス等の調達】 開業後の大規模需要に対して、市内の中小企業等から、質の高い食材や物品・サービス等を計画的に調達します。	【食材・物品・サービス等の調達】 開業後の大規模需要に対して、 <u>市内の中小企業や横浜市中央卸売市場等から、質の高い食材や物品・サービス等を計画的に調達</u> します。そのため、横浜市中小企業振興基本条例の趣旨を踏まえ、市内中小企業の受注につなげます。 <u>また、地産地消や地域特産品を成長・拡大させる観点から、I R 区域内の商業・飲食施設等において、市内調達を推進します。</u> 【写真追加】
71	3 横浜 I R の方向性 (5) - 2 依存症対策 ④国、自治体、I R 事業者の役割分担 ----- ページ右下	【基本法・基本計画等に基づく依存症対策】 相談機関（拠点）の設置 横浜市 △	【基本法・基本計画等に基づく依存症対策】 相談機関（拠点）の設置 横浜市 ○
73	3 横浜 I R の方向性 (5) - 2 依存症対策 ⑤横浜市の依存症対策 ----- ページ中段	【I. 依存症への総合的な取組】 ギャンブル等依存症への対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、関係団体・機関とも連携しながら、総合的に取り組んでいきます。	【I. 依存症への総合的な取組】 ギャンブル等依存症への対策を推進するうえでは、 <u>こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、関係団体・機関とも連携しながら、総合的に取り組んでいきます。</u>
76	3 横浜 I R の方向性 (5) - 2 依存症対策 ⑥現状、課題、今後の取組の方向性 ----- ページ上段	【IV. 調査による実態把握】 「現状」 市民 3,000 人を対象としたギャンブル等依存症の実態調査を実施しています。（令和元年度）	【IV. 調査による実態把握】 「現状」 市民 3,000 人を対象としたギャンブル等依存症の実態調査を <u>実施しました。</u> (令和元年度 <u>実施：回答率 42.1%、過去 1 年以内の「ギャンブル等依存症が疑われる者」の割合推計値は、成人の 0.5%</u>)
76	3 横浜 I R の方向性 (5) - 2 依存症対策 ----- ページ中段	(追加)	【コラム：横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査結果】

頁	変更箇所	変更前（素案）	変更後（修正箇所は下線）
77	3 横浜 I R の方向性 (5) - 2 依存症対策 ⑦ 横浜市が独自に I R 事業者を求める対 策 ----- ページ中段	【相談】 依存症に関する 24 時間体制による 相談対応を行うこと。	【相談】 依存症に関する <u>相談窓口を設置し</u> 、24 時間 体制による相談対応を行うこと。
85 86	3 横浜 I R の方向性 (5) - 3 治安対策などの懸念事 項 ④ 想定される取組 ----- ページ増	表変更	<u>表変更</u>
92	4 I R 実現による効果 (4) 市民の豊かな暮らしへ ----- 上から 7 行目	『横浜 I R』の推進により、横浜の 「グローバル MICE 都市」の地位 を盤石にするとともに、大規模施設 の整備・運営による経済効果や、観 光客などの交流人口の増加により、 さらなる地域経済の活性化を進めま す。	『横浜 I R』の推進により、 <u>アジアを代表 する MICE 都市を目指す</u> とともに、大規 模施設の整備・運営による経済効果や、観 光客などの交流人口の増加により、さらな る地域経済の活性化を進めます。
92	4 I R 実現による効果 (4) 市民の豊かな暮らしへ ----- 上から 10 行目	加えて、それらによる増収効果によ り、財政改善を促進し、福祉・子育 て・医療・教育など、将来にわたり 横浜市民の安全・安心な暮らしで豊 かな生活を守っていきます。	加えて、それらによる増収効果により、財 政改善を促進し、福祉・子育て・医療・教 育・ <u>老朽化した公共施設の更新</u> など、将来 にわたり横浜市民の安全・安心な暮らしで 豊かな生活を守っていきます。
97	5 地域の理解促進・合 意形成に向けた取組 (2) 広報計画 ----- ページ中段	【それぞれのご関心・問題意識に応 じた取組（イメージ）】 主なツール 子どものいらっしゃる方など（テ レビ、雑誌、ウェブサイトなど） 若い方々など（ウェブサイト、大学 等での講義、電車等広告など） お仕事をされている方など（新聞、 セミナー、ウェブサイトなど）	【それぞれのご関心・問題意識に応じた取 組（イメージ）】 主なツール 子どものいらっしゃる方など（テレビ、 雑誌、ウェブサイト、 <u>SNS</u> など） 若い方々など（ウェブサイト、 <u>SNS</u> 、大 学等での講義、電車等広告など） お仕事をされている方など（新聞、セミナ ー、ウェブサイト、 <u>SNS</u> など）

5 スケジュール

- 6 月 30 日 本常任委員会でパブリックコメントの取りまとめ状況 及び方向性(素案)修正概要を報告
8 月 「横浜 I R（統合型リゾート）の方向性」公表予定（市民情報センター、各区役所区政推進
課広報相談係で閲覧に供するとともに、市ホームページにデータを公表）